

二級河川沼田川水系河川整備計画アンケート結果

広島県

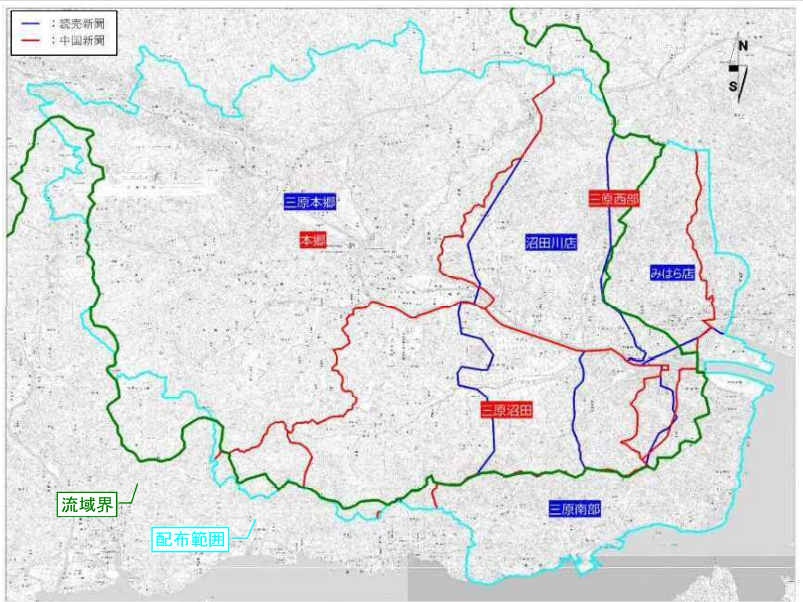
目次

	頁
1. アンケート調査概要	1
2. アンケート調査票	3
3. アンケート調査結果	5
3.1 基本属性	5
3.2 川に対して感じていること	9
3.3 洪水に対する防災意識について	10
3.4 その他（自由意見）	13

1. アンケート調査概要

(1) 調査対象者

アンケート調査は、紙媒体の調査と WEB 調査を実施した。紙媒体では三原市域における読売新聞と中国新聞の配達エリア内の購読者を対象とし、WEB 調査では広島県 HP に公開し回答を得るものとした。



アンケート配布範囲

※ 配布先は読売新聞（三原本郷・沼田川店・みはら店・三原南部）
中国新聞（本郷・三原西部・三原沼田）

(2) 配布数

<紙媒体>

14,680 部：配布部数は各販売所への聞取りによる

<WEB 媒体>

無制限：広島県 HP に紙媒体と同じ内容のアンケート（Excel 形式）を掲載

(3) 配布方法

紙媒体の配布方法は、次のとおりとした。

【配布方法】：新聞への折込（角 2 封筒）

【配布資料】：整備計画説明書（A3 カラー両面 2 つ折）、アンケート調査票（A3 白黒両面 2 つ折）、
返信用封筒

(4) アンケート調査期間

アンケート調査期間は、次のとおりとした。

令和元 年 11 月 29 日（金） ～ 令和元 年 12 月 13 日（金）（15 日間）

(5) アンケート回収率

アンケート回収率は以下のとおりである。

形式	配布数	回答数	回収率
紙	14,680 通	3,098 通	21.1%
WEB	無制限	11 通	-

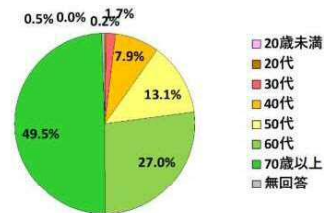
※令和元 年 12 月 13 日消印のあるものを対象とした。

3. アンケート調査結果

3.1 基本属性

質問 1. あなたの年齢を教えてください。

回答した人の年代で最も多いのは「70 歳以上」であり、続いて「60 代」、「50 代」の割合が高く、60 歳以上の回答者が約 80%と非常に高い割合を占めている。



回答数 3,109

質問 2. あなたのお住いの地域を教えてください。

三原市に居住している人が90%以上を占め、うち、旧三原市が約 70%、旧本郷町が約 30%となっている。アンケート配布範囲と一致することがわかる。



回答数 3,109

質問 3. 沼田川水系において「身近な川」はどれですか

身近に感じる河川は、沼田川本川が約 40%を占め、支川では天井川が約 20%と高い割合になっている。



回答数 3,109

質問 4. あなたが現在お住いの場所は、「身近な川」からどのくらいの距離ですか

川から徒歩 5 分以内にお住まいの人から約 60%の回答が得られており、回答した人の多くが沿川に居住しているのがわかる。



回答数 3,109

質問 5-1. あなたはいつから現在の場所にお住まいですか

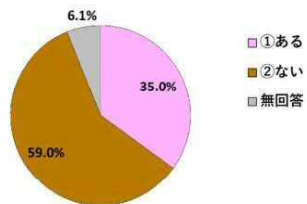
「平成9年以前」から住んでいると回答した人が約70%を占め、平成11年出水以前から居住されている人が多いのがわかる。



回答数 3,109

質問 5-2. 現在お住まいの場所で水害を経験したことがありますか

水害を経験したことのある人が約35%、経験したことのない人は約60%となっている。



回答数 3,109

質問 6. 「身近な川」に訪れるのはどの程度ですか

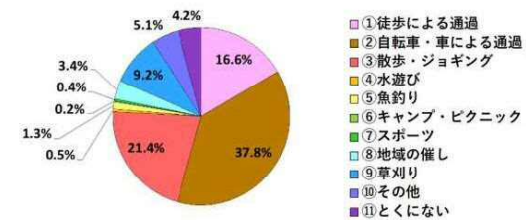
「身近な川」に訪れる頻度は「毎日」と回答した人が約50%を占めている。次に「週に2～3回」が約15%という結果になっている。



回答数 3,109

質問 7. 「身近な川」を訪れる主な目的は何ですか

「身近な川」を訪れる主な目的は「自転車・車による通過」という回答した人が約40%となっている。次に「散歩・ジョギング」による回答した人が約20%占める。

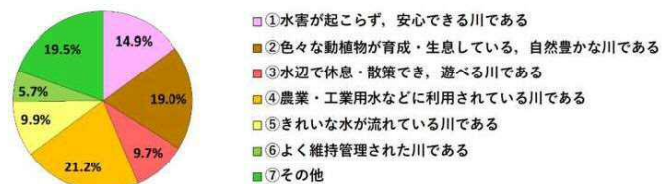


回答数 4,314
複数回答

3.2 川に対して感じていること

質問 8. 現在、「身近な川」に対してどのように感じていますか

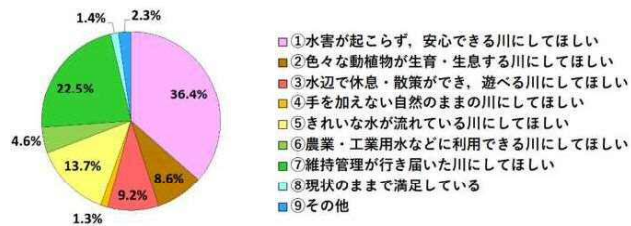
現在、「身近な川」に対してどのように感じていますかという問いに対して、沼田川水系においては「農業・工業用水などに利用されている川である」、「色々な動植物が育成・生育している、自然豊かな川である」と回答した人が約20%と高くなっている。



回答数 4,134
複数回答

質問 9. 今後、川に対して特に何を期待しますか

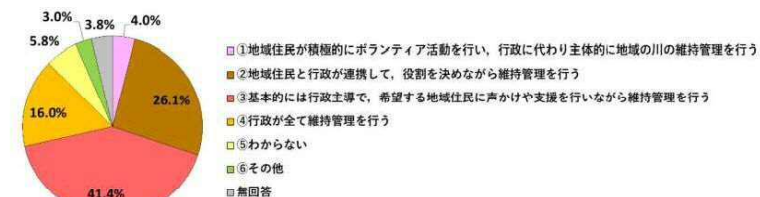
今後、川に対して期待することとして「水害が起こらず安心できる川にしてほしい」と回答した人が約40%、「維持管理が行き届いた川にしてほしい」と回答した人が約20%となった。



回答数 6,833
複数回答

質問 10. 平常時における川との関わり方に関する考えに、最も近いものを選んでください

平常時における川との関わり方に関する考えへの回答は「基本的に行政主導で、希望する地域住民に声かけや支援を行いながら維持管理を行う」が約40%と最も高くなっている。



回答数 3,109

3.3 洪水に対する防災意識について

質問 11. あなたの住んでいる場所は、洪水に対して安全だと思いますか

約60%の人が、住んでいる場所は洪水に対して安全だと思っている。



回答数 3,109

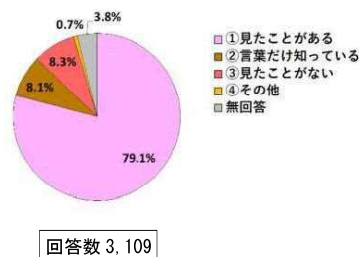
質問 12. 質問11で「①はい②いいえ」を選択した理由をお聞かせください

質問11で「①はい」を選択し、「過去に洪水被害に遭ったことがないから」と回答した人は約50%、質問11で「②いいえ」を選択し、「過去に洪水被害に遭っているから」と回答した人は約45%となっている。



質問 13. お住いの地域のハザードマップを見たことがありますか

ハザードマップについては「見たことがある」と回答した人が約80%、「言葉だけ知っている」と回答した人は約10%となっている。



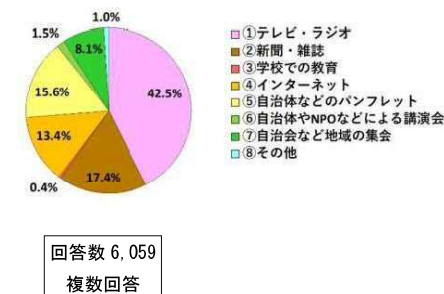
質問 14. あなたが防災情報の収集を行う際に、最も利用するものは何ですか

防災情報の収集を行う際に、最も利用するのは「テレビ・ラジオ」が約50%と過半数を占めている。



質問 15. 防災に関する知識を、あなたはどのように入手していますか

回答者の約40%が「テレビ・ラジオ」で防災に関する知識を入手している。次に多いのが「新聞・雑誌」の約20%、「自治体などのパンフレット」の約15%が続く。



3.4 その他（自由意見）

質問 16.その他、河川全般についてお気づきの点などありましたら、お聞かせください

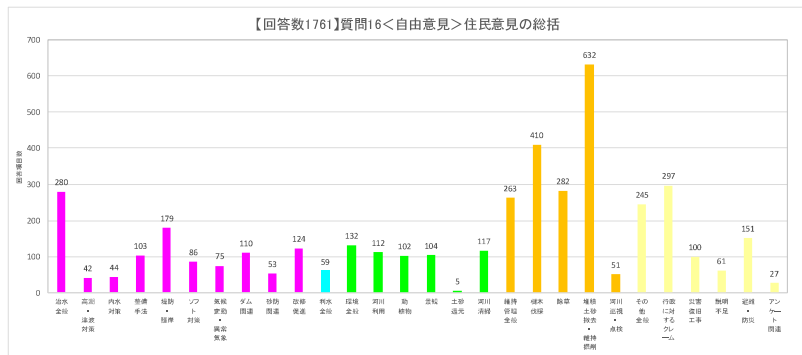
住民意見の総括表を以下に記す。

回答数 1,761

回答項目数 4,246

住民意見の総括表

分類	小分類	回答項目数	具体的な内容
治水	治水全般	280	治水全般に関する意見・要望（下記の分類ができない治水全般の意見・要望）
	高潮・津波対策	42	高潮や津波対策に対する意見・要望（台風や東海・南海地震等）
	内水対策	44	内水対策に対する意見・要望（排水機場による内水排除の強化等）
	整備手法	103	整備手法のあり方に対する意見・要望（河川整備の手法への意見等）
	堤防・護岸	179	堤防や河防に対する意見・要望（護岸整備、堤防強化、堤防のかさ上げ等）
	ソフト対策	86	ソフト対策に対する意見・要望（災害時の防災情報（雨量、水位、避難）、リスク情報（ハザードマップ）等）
	気候変動・異常気象	75	計画規模を超過した外力に対する検討の意見・要望（気候変動、異常気象等）
	ダム関連	110	ダム関連の意見・要望（予備放流、操作規則、洪水調節等）
	砂防関連	53	土砂災害や砂防に対する意見・要望
	改修促進	124	改修を促進させる意見・要望
	計	1,096	
	利水	59	利水全般に関する意見・要望（取水堰（七宝堰等）の取り扱いや用水路の復旧等）
	計	49	
環境	環境全般	132	環境に関する意見・要望（下記の分類ができない環境全般の意見・要望）
	河川利用	112	河川利用に対する意見・要望（駐車場、遊歩道の整備、河川利用の促進等）
	動植物	102	動植物を考慮した整備の実施の意見・要望
	景観	104	景観を考慮した整備の実施の意見・要望
	土砂還元	5	戻した土砂を還元する設備の検討の意見・要望
	河川清掃	117	河川清掃に関する意見・要望
	計	517	
維持管理	維持管理全般	263	維持管理全般に関する意見・要望（下記の分類ができない維持管理全般の意見・要望）
	土木設備	410	土木設備に対する意見・要望
	設備	297	設備の手入れや整備に対する意見・要望
	堆積土砂撤去・維持規則	632	堆積土砂や維持規則に対する意見・要望
	河川監視・点検	51	河川監視や点検に対する意見・要望
	計	1,653	
	その他	245	その他に関する意見・要望（下記の分類ができないその他全般の意見・要望）
その他	行政に対するクレーム	297	行政に対するクレーム（数増減が感じられない、住民意見が反映されていない等）
	災害復旧工事	100	災害復旧工事に対する意見・要望
	説明不足	61	情報が不足している、具体的な説明を望む等の意見・要望（災害時の防災情報や整備計画の内容等）
	避難・防災	151	避難や防災に対する意見・要望（防災意識の改善、説明会の実施、防災無線の改善、避難所の見直し等）
	アンケート関連	27	アンケートの意義に対する意見、アンケート結果公表希望等の意見
	計	881	
	合計	4,246	



主な自由意見

（治水全般）

災害が起きない様に対策をしてもらいたい。治水対策は、行政の最重要案件のひとつだと考えます。優先順位はあると思いますが、1度全域の河川を整備してほしい。

（高潮・津波対策）

東海、東南海大地震に伴う河川の決壊、津波の河川への遡上の対策を至急して欲しい。南海トラフの地震による津波も心配である。今後強い台風や津波が来た時被害が最小限になる様対策を希望します。

（内水対策）

水門を整備し、排水ポンプの大型化をしてほしい。排水ポンプ設置場所の高所化（今回の災害でポンプ場が水没したものも有り）。

（整備手法）

水害の起こった箇所は、繰り返し起こさないよう対策を優先的に行ってほしい。

（堤防・護岸）

川の側面を崩れないようにコンクリートとかで固めてほしい。沼田川の堤防をもう少し高く、堤防の強度を見直し、安全な堤防にして下さい。沼田川の水圧で土砂が押し出され決壊寸前の所が多かりました。

（ソフト対策）

大雨の際、河川の水位に関する情報や避難情報を三原市と協力して伝えてほしい。特に上流の水位から想定した下流の河川の決壊情報が重要と考えます。ハザードマップがわかりにくい。見にくい。

（気候変動・異常気象）

昨今の異常気象による災害が今後も起きうる時、現状河川でいかに対応できるか不安です。温暖化により、これまで経験した事のない災害（水害）の発生を恐れています。

（ダム関連）

天気予報等で雨量が増えると判断した時は、貯水量の最低を確保しなくても事前に放流できるようにする。ダムの放流はタイミング等、良く検討して下さい。上流にダムがあっても洪水を制御できていない。

（砂防関連）

河川についても大事ですが土砂災害についても検討して欲しい。砂防ダムの新設と砂防ダム堆積土砂の撤去。

（改修促進）

予算の都合もありましようけれど、借金してでも人命を第一に考え1日でも早く修理して安心して生活出来る様にして戴きたいと思います。大きな水害を受けたので、早急に河川の改修を進めて頂きたい。

利水

（利水全般）

七宝堰の撤去は慎重に判断して頂きたい。農業用水の利用をしています、古くなった頭首工の改修を、また、上流の水質管理、監督をお願いしたいと思います。

環境

（環境全般）

沼田川の水はもう少しきれいだった。水質検査等は、定期的に行っているか。

（河川利用）

河川敷を広くして、きれいな公園、野球など遊べる場所が欲しい。

（動植物）

川岸に桜の木を植樹してほしい。むかしの沼田川にもどってほしい(生物がいなくなっている)けど、水害がおこらない様にしてほしい。

（景観）

きれいな河川にしてほしい。雑草等の手入れが行き届いておらず、遊歩道の方までおい繋っており、景観も悪く残念です。気持ちよく、人の集まる環境になる様に希望します。

環境 (土砂還元)
堰が多くあり土砂がたまり易いのではないかと、そのため瀬戸内海の砂場の復旧力を妨げている様に感じる。

(河川清掃)
地域で川そうじ(川底、側面の雑草、砂のそうじ、ゴミ拾いなど)をしていますが、高齢者が増え負担が大きいです。行政でなんとかしていただきたいです。

維持管理 (維持管理全般)
河川の維持管理は、行政と地域住民の協力が必要と考える。日頃から河川の維持管理にもっと重点を置いて欲しい。

(樹木伐採)
河川の立木を切って欲しい。1年で大きくなるから。河川の中の樹木を伐採してほしい。

(除草)
河岸の雑木、雑草等伐採作業を度々行う。2～3人でも草刈り補助をして欲しい。

(堆積土砂撤去・維持掘削)
河川の土砂を定期的に撤去してほしい。

(河川巡視・点検)
市、県が定期的に点検し土石の除去、護岸の整備を実施すべきである。常に川の状態を確認して、川の流れを良くしてほしい。

その他 (その他全般)
川に並行する道が狭い。沼田川は一級河川にするべきである。船の不法係留が目立つ。

(行政に対するクレーム)
行政全般の対応にかかることだが、一番よく地域の状況を熟知している町内会が陳情要望してもほとんど実施しない。災害、事故等が発生した時に重い腰をあげる。市民、県民に立った目線で対応すべき。予算の問題もあるが何か起こった対応では遅すぎる。地域と連携を密にし、未然に事故防止を図っていただきたい。

(災害復旧工事)
災害復旧工事は、災害箇所のみでの復旧であるが、改良も含め工事をすべきではないか。工事されている所は安心だが、まだまだ未対策・未実施の所があり、いつかは何か起きるのではと心配。

(説明不足)
沼田川の整備について、分かりやすい内容の説明、開示をしてほしい。災害時の情報提供はあらゆる手段でわかりやすく身近に危険があることを知らせてほしい。

(避難・防災)
避難訓練(行政、町内会、消防団等が行う行事)が少ないと考える。浸水被害が発生した時、老人には避難場所が遠すぎる。市町の放送が聞き取りにくい。家の中でも放送をしっかりと聞けるように。

(アンケート関連)
河川改修計画の説明詳細がない中での本アンケートの意義や活用方法が全く見えない。アンケート結果の公表及びそれに伴う基づく対策の公表、実施を希望します。